

リテックエンジニアリング

インフラ施設の維持管理でこんなお悩みはありませんか？

- 人** 人材不足で維持管理計画の見直しまで手が回らない
- モノ** 維持管理計画を簡単に見直す道具がない
- 金** 予算不足で今の維持管理計画が適正か不安



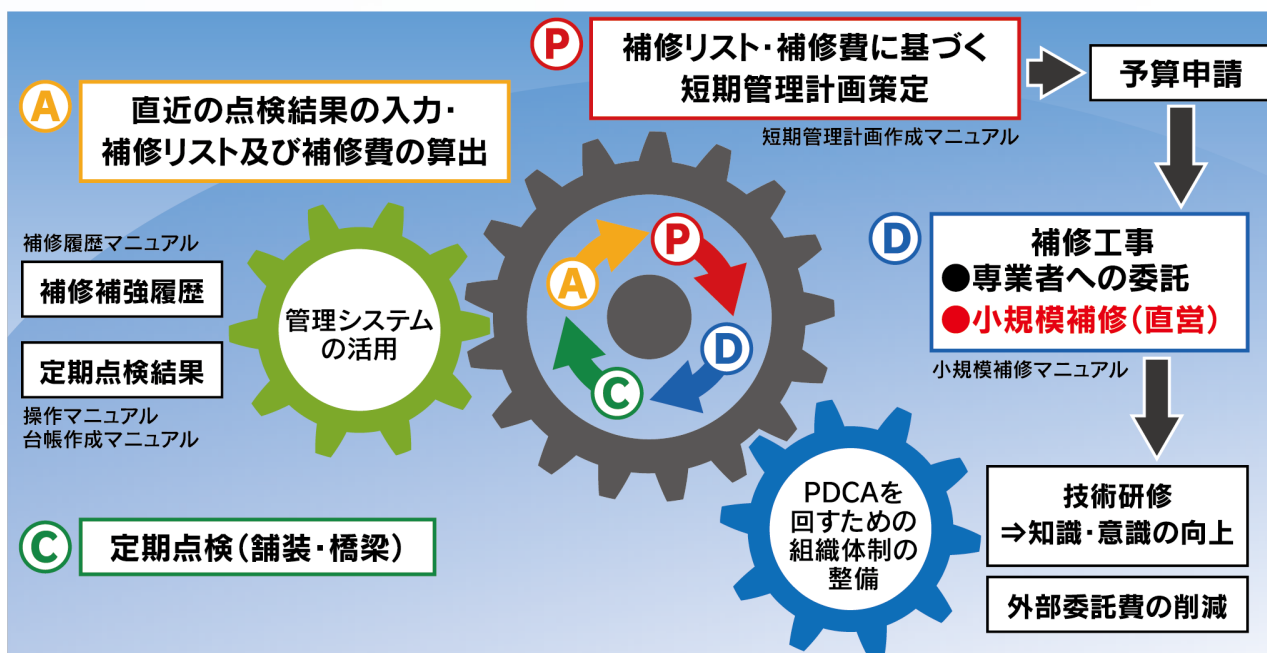
管理計画が見直せない！
予算申請がうまくいかない！



リテックのご提案

「自治体維持管理計画見直し支援システム」を活用

直近の点検結果から説得性のある管理計画を策定します！



※本システムは「公益社団法人土木学会技術推進機構アセットマネジメントシステム実装のための実践研究委員会」のモデル事業の一環として整備しました。システムは土木学会ホームページから無料でダウンロードが可能です。

http://committees.jsce.or.jp/opcet_jst/node/18

システムの概要

自治体維持管理計画見直し支援システムは、舗装管理システムと橋梁管理システムの2種類です。

舗装管理システム . . . 直近の点検結果（5年で一巡）を用いて、ひび割れ率を管理指標とした短期（今後5年程度）の管理計画を表示します。表示は100mの連続性を考慮した区間と部分的にひび割れ率が高い区間を対象とします。

橋梁管理システム . . . 直近の点検結果（5年で一巡）を用いて、部材の健全度を管理指標とした短期（今後5年程度）の管理計画を表示します。健全度は「橋梁の点検要領（案）」（東京都建設局）に準じた指標を用います（各自治体様に即したカスタマイズ可能）。

システムでできること

直近の点検結果をもとに短期の管理計画が職員の手で容易に策定できます。管理計画は説得力を持っているため、住民への説明や予算要求に供することができます。

